


2022年12月期第2四半期

決算説明資料

2022年8月23日

 **木徳神糧株式会社**

証券コード：2700



2022年12月期第 2 四半期 連結業績の概況

決算ハイライト (P/L)

売上横ばい・大幅増益

単位：百万円

	前第2四半期 (2021年1月～6月)	当第2四半期 (2022年1月～6月)	増減額	前年同期比
売上高	54,442	53,944	△498	99.1%
売上総利益	3,020	3,568	548	118.1%
売上比	5.5%	6.6%		
販売費および一般管理費	2,650	2,757	107	104.0%
売上比	4.9%	5.1%		
営業利益又は営業損失(△)	370	810	440	218.9%
売上比	0.7%	1.5%		
経常利益	428	831	403	194.2%
売上比	0.8%	1.5%		
特別損益	△0	199	199	—
売上比	—	0.4%		
		投資有価証券売却益		
親会社株主に帰属する 当期純利益	361	708	347	196.1%
売上比	0.7%	1.3%		



修正連結業績予想と実績

業績動向や市場環境を踏まえ、2022年2月17日に公表いたしました業績予想を修正しております。2022年4月22日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。



単位：百万円

	当初予想	修正後予想	当第2四半期実績	実績進捗率
売上高	97,500	103,000	53,944	52.4%
営業利益	480	1,000	810	81.0%
経常利益	540	1,050	831	79.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	350	900	708	78.7%

売上

-  コンビニエンスストアを中心に中食向けの販売堅調
-  令和2,3年産米の豊作を要因とする供給過剰によって米穀の販売単価が下落

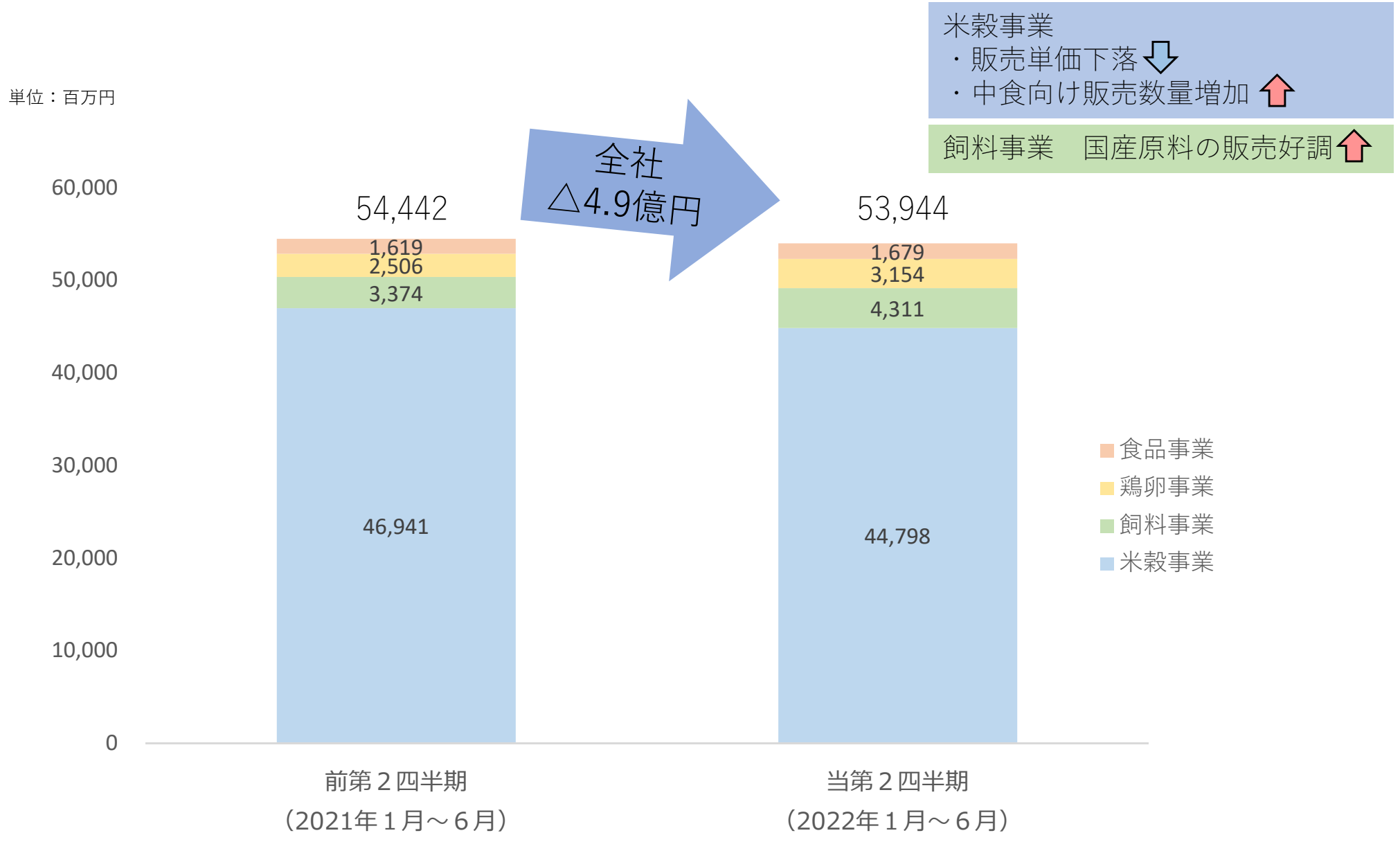
利益

-  仕入ルートの複線化により国産米の取引に係る採算の改善
-  米穀在庫の適正化によるコストの削減



売上高（セグメント別）

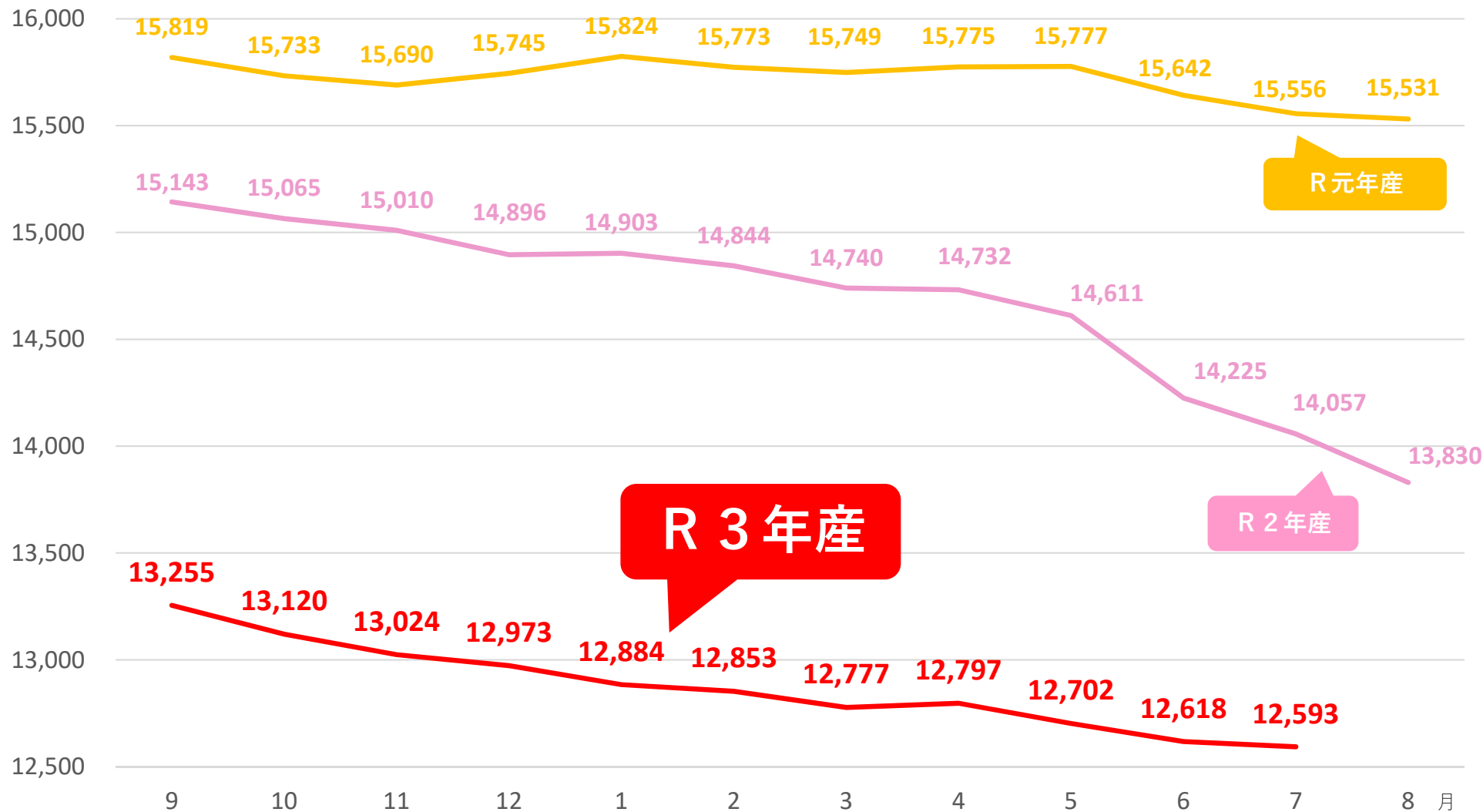
単位：百万円





コメの相対取引価格の推移

単位：円/60kg

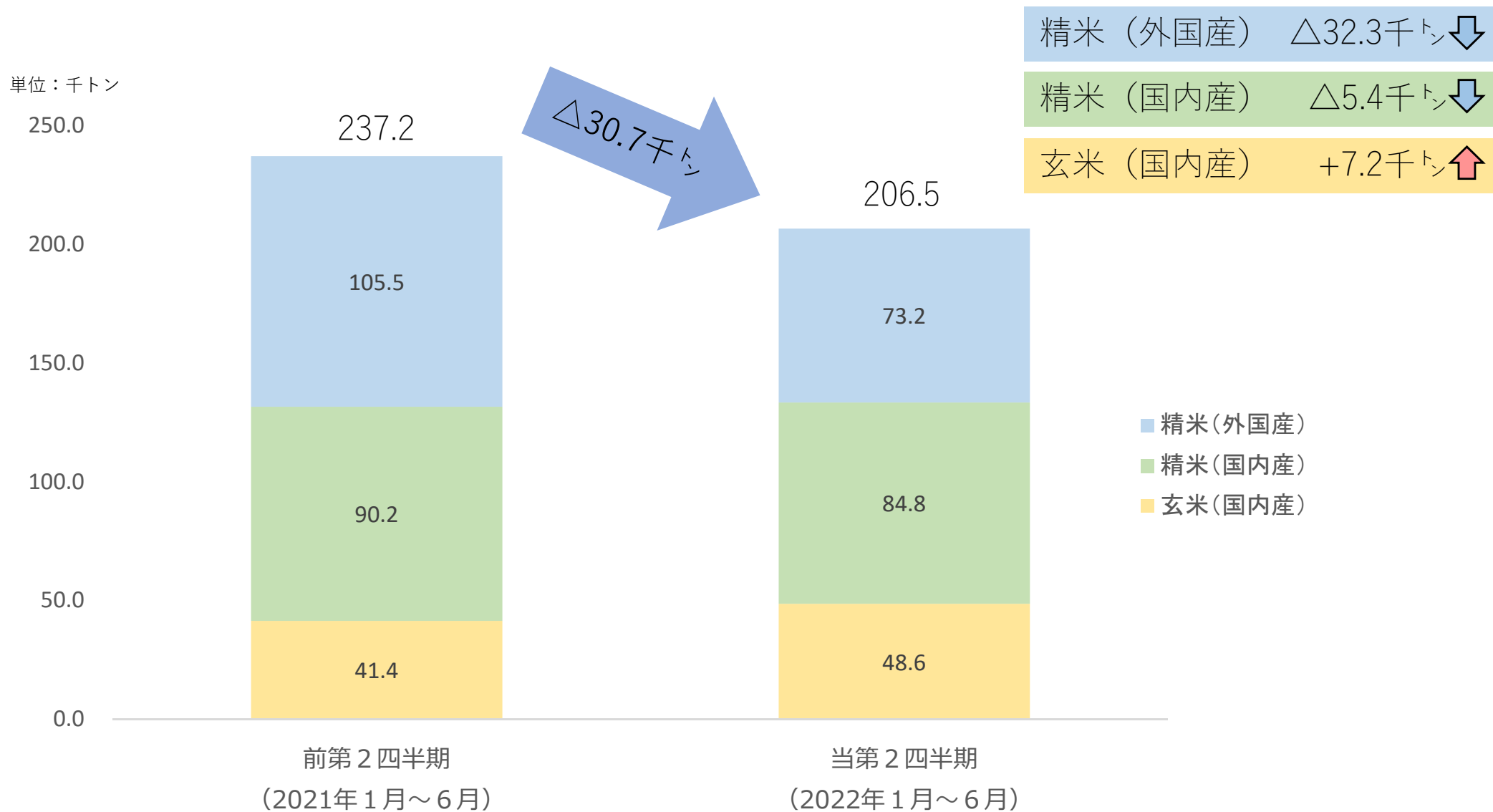


注：1. 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2. 相対取引価格は全銘柄平均価格であり、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウエイトで加重平均した価格である。



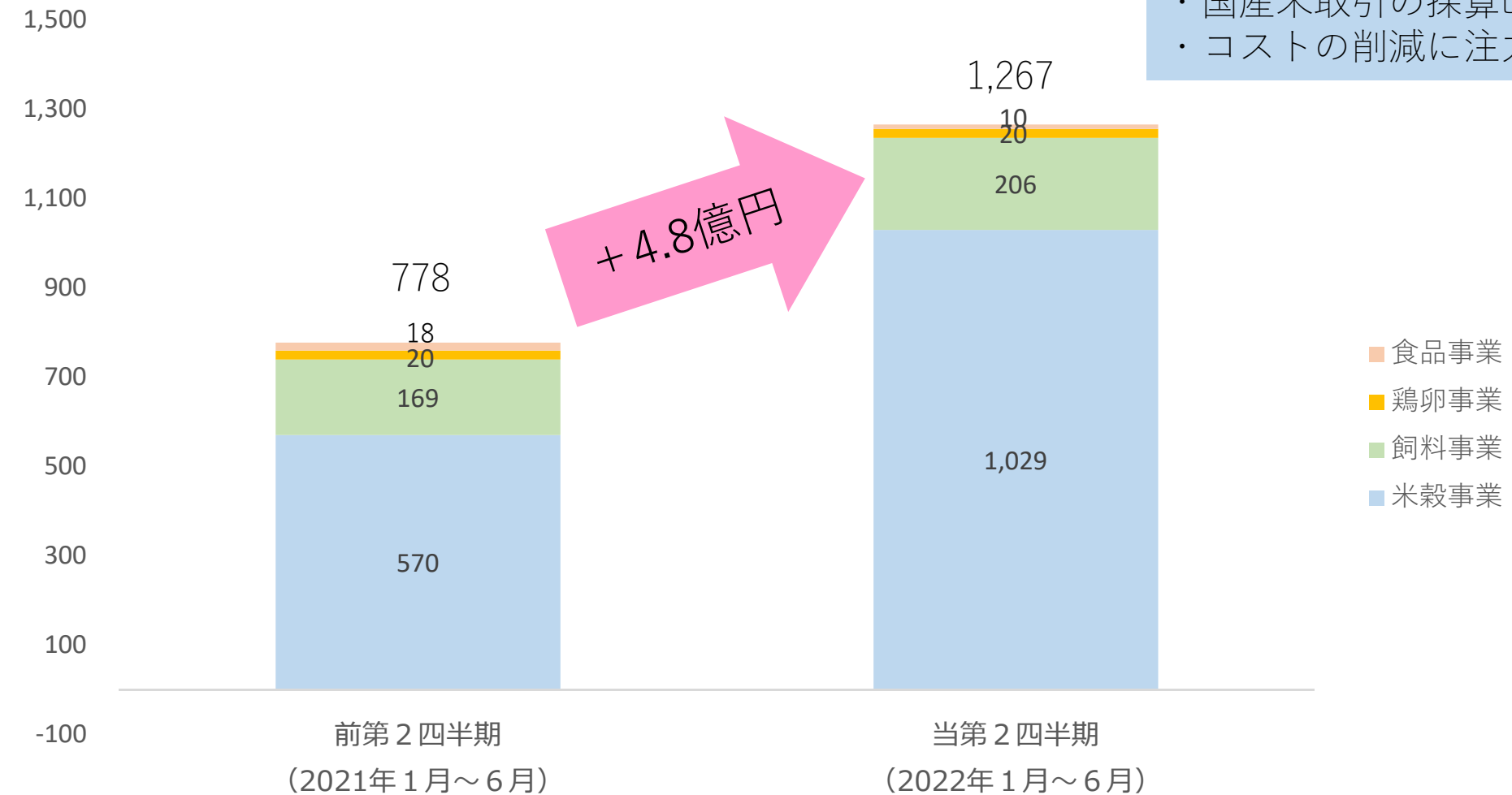
販売数量（米穀事業）





営業利益（セグメント別）

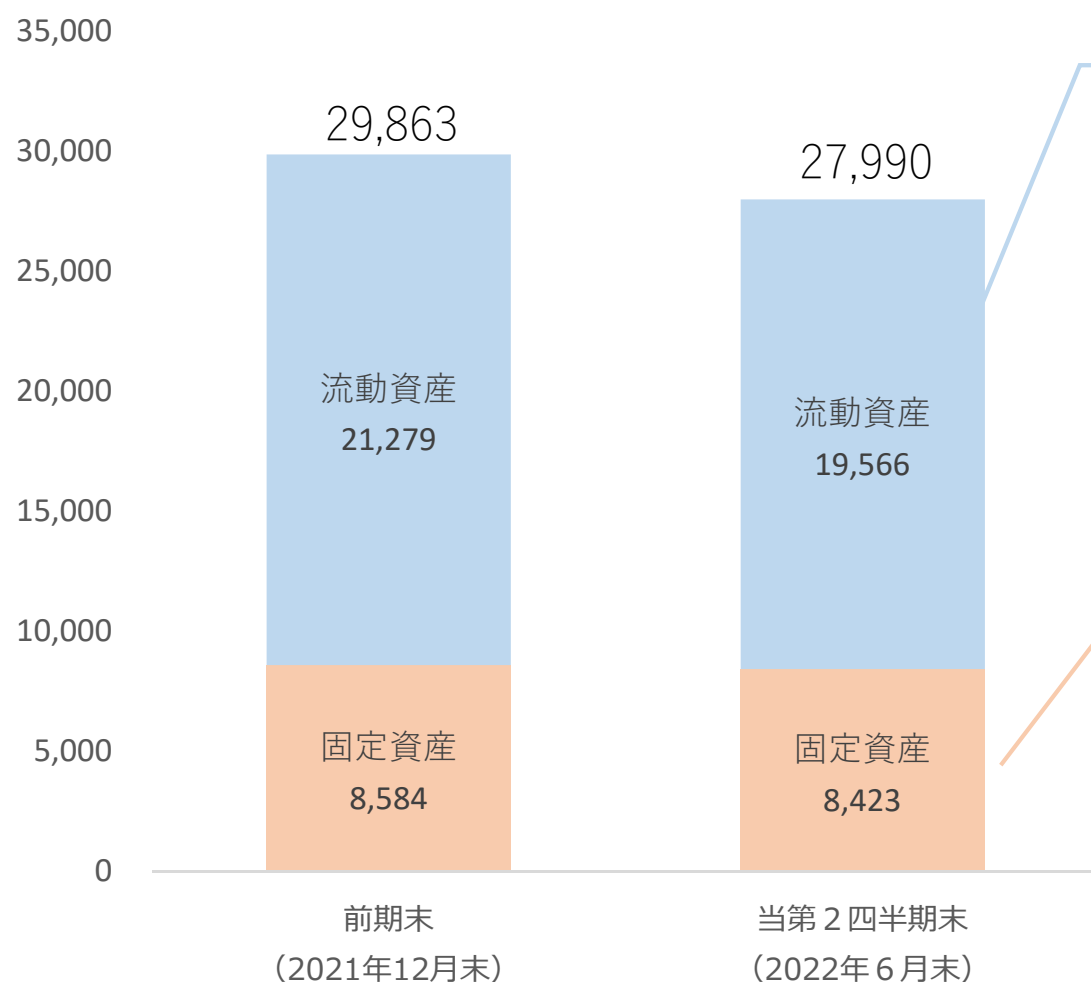
単位：百万円



資産、負債及び純資産の状況（1）

【資産の部】

単位：百万円



流動資産	△1,713
前渡金（※）	△2,042
たな卸資産	△1,243
現金及び預金	+1,803

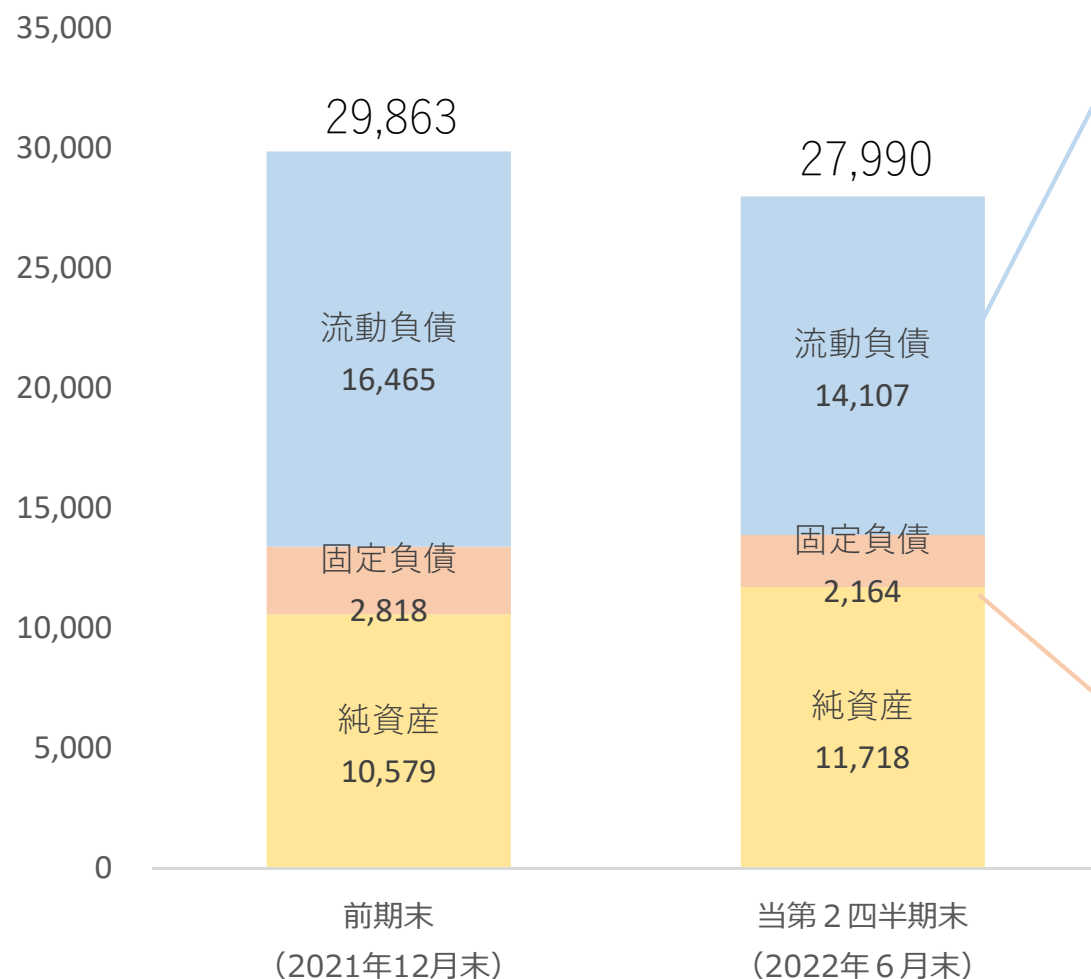
（※）要因は主にミニマム・アクセス米に係る取引によるもの

固定資産	△161
投資その他の資産	△104
有形固定資産	△54
無形固定資産	△3

資産、負債及び純資産の状況（2）

単位：百万円

【負債・純資産の部】



流動負債	△2,358
短期借入金等 (※)	△2,007
未払金	△310
支払手形及び買掛金	△303
未払法人税等	+218

(※) 1年以内返済予定の長期借入金を含む

固定負債	△654
長期借入金	△791
繰延税金負債	+154



決算ハイライト (B / S)

	前期末 (2021年12月末)	当第2四半期末 (2022年6月末)	増減額
総資産 (百万円)	29,863	27,990	△1,873
純資産 (百万円)	10,579	11,718	△1,139
自己資本比率	34.6%	40.8%	+ 6.2
1株当たり純資産 (円)	6,376.81	7,054.57	+677.76

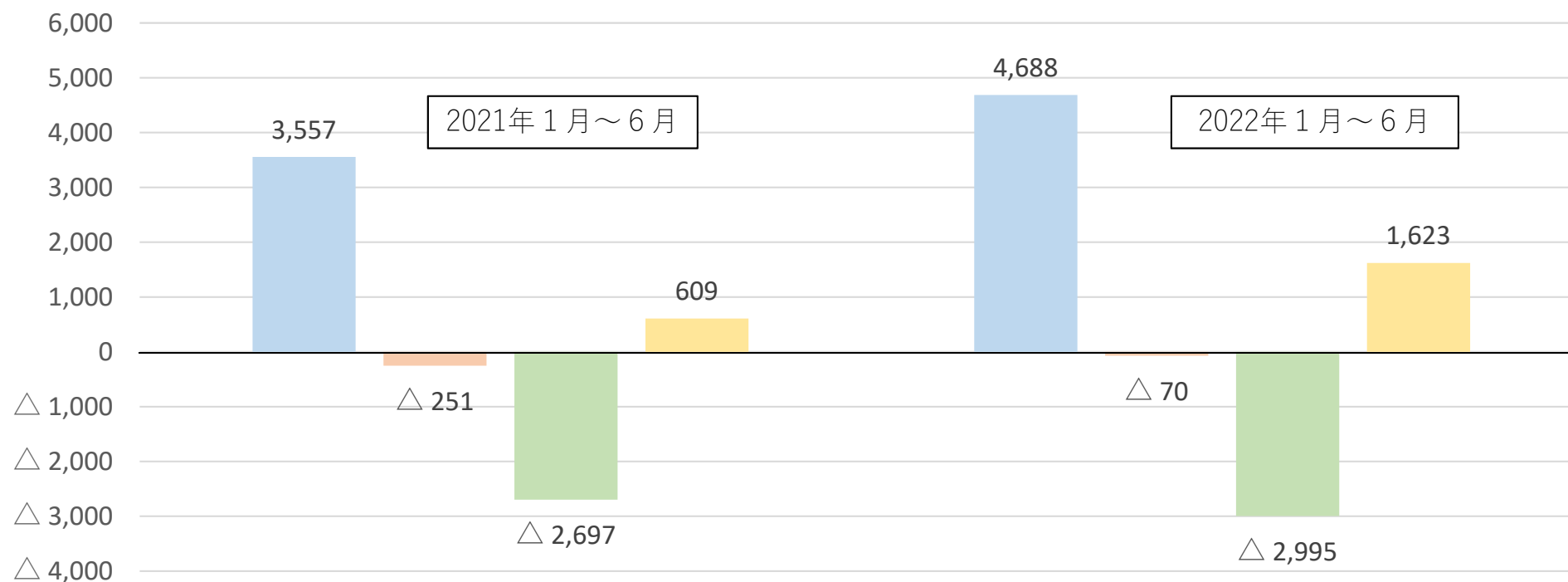
(参考) 自己資本：2021年12月末 10,332百万円、2022年6月末 11,430百万円。

決算ハイライト (C/F)

単位：百万円

	前第2四半期 (2021年1月～6月)	当第2四半期 (2022年1月～6月)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,557	4,688	+1,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251	△70	+181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,697	△2,995	△298

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー ■ ネットキャッシュ・フロー





当第2四半期までの取り組み

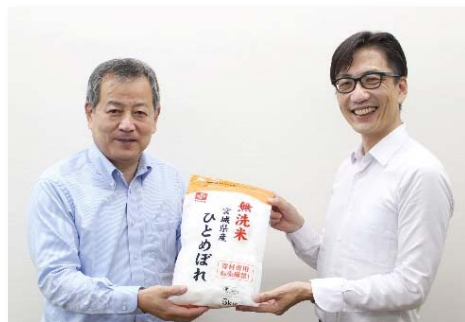
企業価値の向上に向けた取り組み

課題

“サステナビリティ”が社会的なニーズ → **SDGs** に対応した取り組みを推進
(持続可能な開発目標)

社会貢献を考えた取り組み

- 農水省「新型コロナウイルス影響緩和特別対策事業」の補助を受け、全国のこども食堂へお米を寄付
(年間精米約360ト、5kg×72,000袋相当)



左：竹内社長、右：むすびえ湯浅理事長



専用米袋

- ウクライナから避難した女性や子供が暮らすポーランドの施設に寄付
(\$5,000、約65万円)



寄付先から感謝状をいただきました

環境貢献を考えた取り組み

- プラスチックの使用量を削減した包装エコ米袋商品の拡充
- 『こめプラ』(米由来のプラスチック)を利用した新たな米袋の開発推進



非主食用の米粉を20%含む素材の米袋
(採用商品を9月発売予定)



米を配合したバイオマスペレット
(イメージ)

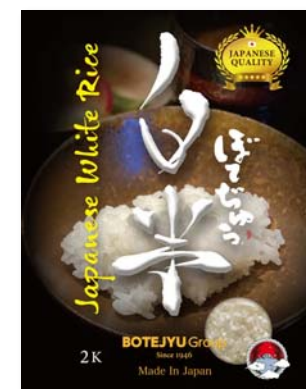
海外事業（輸出入）における取り組み

課題

各国における経済活動が制限 → 変化した生活様式への対応と新規市場の開拓が必要

コロナ禍で変化したニーズへの対応

- 拡大する日本食市場に向けて日本米の輸出を強化
- 欧米市場を中心とした新規市場開拓による第三国輸出の強化
- タイ香り米の認知度向上とブランド定着
 - ✓ 再開したタイフェスティバルやイベントへの参加
 - ✓ キッチンカーによるタイ香り米のPR活動強化



「ぼてじゅう®」を運営するBOTEJYU® Groupとのパートナーシップによる日本米の輸出拡大



3年ぶりに開催したタイフェスティバル（大阪）へ出展



FOOD EX JAPAN 2022に出展



FOOD EXでのライスベリーのを使用したタイ料理

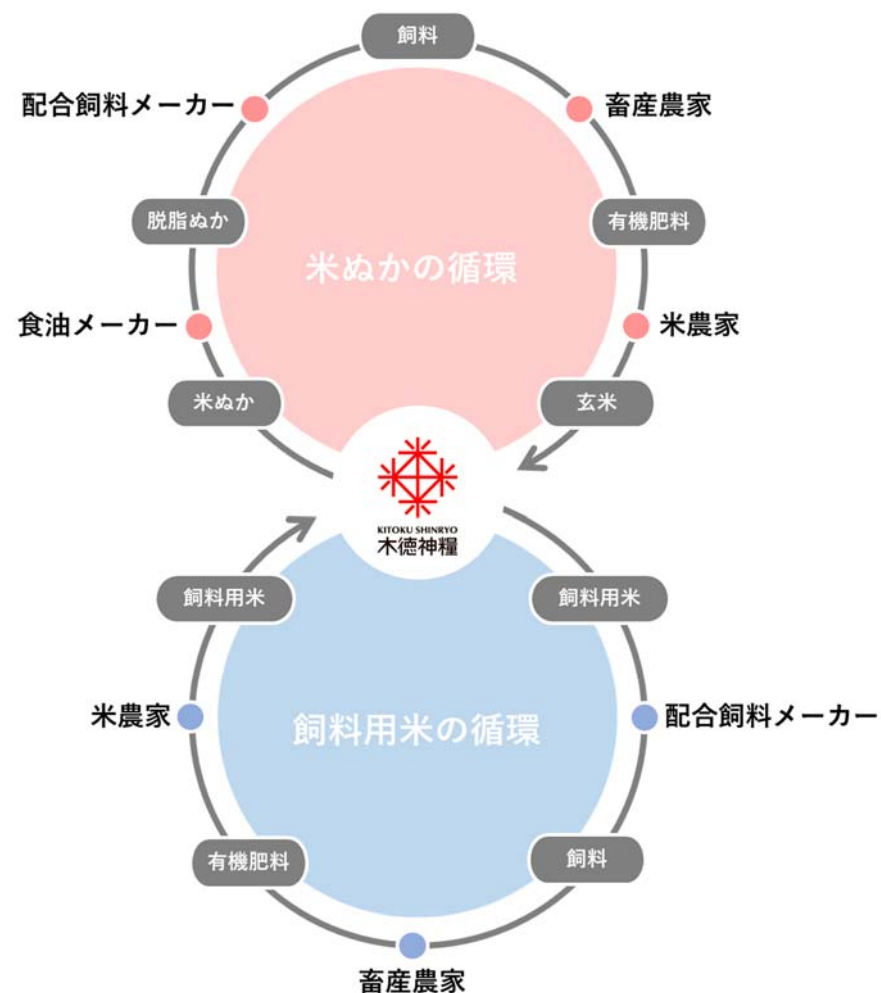
飼料事業における取り組み

課題

北海道と九州地区の畜産市場が成長 → 新規取引先の開拓による販売拡大

成長市場における販売強化と安定調達 循環型ビジネスの推進

- ▶ 北海道と九州地区の肉用牛・乳用牛の飼育頭数が増加
 - 両地区における提案営業の強化
- ▶ 国内外からの飼料原料の仕入を強化
 - 国内の仕入先の広域化
 - 海外の優良粗飼料メーカーとの取引拡充
- ▶ 循環型ビジネスの推進
 - 生産者、メーカーと協働して米ぬかおよび飼料用米の取り扱いを強化



新規事業・新規チャネル

課題

ニーズの多様化 → 付加価値の高い商品・サービスの提供

ECサイト **KOMETTS** の活用

- コンテンツの充実とサイトの利便性向上
- 取り扱いアイテムの種類を拡充



自社で製粉した米粉を用いたグルテンフリー米粉パン



たんぱく質の含有量を調整した商品

新商品開発の推進

- 若手社員を中心に新商品の開発を推進中
- ECサイトや企業HPを活用した販売・宣伝を計画



商品開発案を経営陣にプレゼンテーション





注意事項

本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2022年8月23日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室

TEL：03-3233-5125 Email：ir@kitoku-shinryo.co.jp

URL <https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>